



沖縄修学旅行 2学年

11月14日（水）～16日（金）の2泊3日の日程で2学年修学旅行を実施しました。初日は、ひめゆりの塔、ひめゆり平和祈念資料館やガンマ体験等、地元の平和ガイドさんからの説明も加えた平和学習を行いました。

2日目は、美ら海水族館見学の後、グループに分かれての体験学習を行いました。通り雨もありましたが、青空と青い海のコントラストを感じることもできました。夕食後には、安室奈美恵等を輩出した沖縄アクターズスクール生との交流プログラムがあり、大いに盛り上がりました。



3日目は、世界遺産の首里城公園を訪れ、琉球王国の歴史と魅力を堪能した後、国際通りでの自主研修を経て、帰路につきました。生徒は、よい思い出と多くのお土産を持って無事帰着することができました。



健脚遠足 1学年

熊野古道を藤白神社から湯浅駅まで



16日（金）に、1学年の臨海実習に次ぐ伝統行事、健脚遠足を実施しました。藤白神社を出発しJR湯浅駅までの長い距離を、教員及び生徒で何回も下見や事前準備を重ねたかいもあり、全員無事完歩できました。木々の葉やみかんの実も色づいた秋の真ん中を歩き遠足、距離が長く、高低差も激しい行程でしたが、きれいな景色を眺め、歴史を感じながらあること

は、なかなか、体験できないものです。生徒からは、自信をもつことにつながったとも声が多く聞かれました。

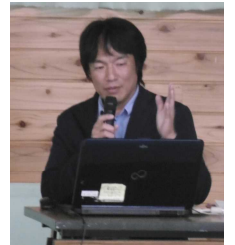
教養理学科1学年が近畿大学原子力研究所で研修

13日（火）、14日（水）の2日間、1年教養理学科が恒例となっている近畿大学の原子力研究所見学を実施しました。まず、原子力施設に入るための保安教育を受けた後、火力発電と原子力発電の違いや、原子炉内での原子の反応の調節の仕組みなどについて講義を受けました。その後、原子力施設の見学を行いました。本年度は、原子炉検査のため運転休止の状態でしたが、生徒には貴重な体験となりました。放射線について、ただ怖いというだけでなく、どのような存在なのかについて理解を深め、原子力や放射線についての正確な知識を得ることができました。



「夢のかたち」講座 本年度最終回 第8回講座（1学年）

11月1日（木）地元産物を用いたジェラード専門店として有名なキミノーカ（宇城農園）の宇城哲志代表が「失敗の勧め」と題し、逆説的な切り口から生徒の心に響く講演をしてくださいました。現在の事業は成功しているように見えるが、裏には、ほどほどの失敗があるもの、自分や、地域を過小評価することなく、素晴らしさや売りとなるポイントを見いだそう。また、見方を変える、つまり相手の立場で物事をとらえてみると解決策が見つかる、など生徒に自信をもって様々なことにチャレンジすることを勧めてくださいました。



12月の予定

- 6日 高校生防災スクール 第3回学校運営協議会
- 7日 和歌山大学特別授業（教養理学科2学年）
- 11日 進路サポート（2学年）
- 12日 GTEC for STUDENTS
- 13日 近畿大学原子力研究所研修（教養理学科1学年）
- 14日 遊歩道交通指導（3学年）
- 16日 駿台センタープレテスト
- 19日 三者面談（～25日）
- 21日 終業式
- 22日 集中学習（～29日）